

運動会のビデオの撮り方、ご存知ですか

西宮市教育委員会 仲島正教

今年も運動会の季節がやってきました。体育会系の私にとって運動会は晴れ舞台でした。「1着でテープを切る」そんな姿を娘にも期待している親バカの私でした。

「真悠子、リレー1番とれよ!」「お母さん、しっかりビデオ撮っというよ」と運動会の朝、小4の娘と妻にそう言って私は仕事に出かけました。……夕方、私は家にとんで帰り、開口一番「真悠子、今日何番だった?1番とったか?」と聞きました。すると娘の返事をささげるように妻が「ビデオに撮ってあるからそれを見てよ」「えー」と思いつつ私はすぐにビデオのスイッチを入れました。画面は、入場前の整列しているところでした。私は早く結果が知りたくて、早送りをしようとした途端、妻が「そこから見てちょうだい!」と私を止めるのです。仕方なく娘が並んでいるシーンを見てみると、娘の前に並んでいる健ちゃん(仮名)が自分のはちまきを外し、下に投げ捨てたのです。すると娘が、ニコニコしながらそれを拾って健ちゃんの頭に締めめるのです。それからすぐまた健ちゃんは、はちまきを投げ捨てました。娘は、ニコニコしながらまた締め直します。そしてもう一度同じことが繰り返されました。それでも娘は、ニコニコしながらまた健ちゃんの頭に締め直すのです。はじめは「何してるんや」と思っていました。2回3回と続くその光景にだんだん私の心が変化していくのがわかりました。健ちゃんとは1年生の時から同じクラスでした。時々教室から飛び出したり、声をあげることもあった子です。その健ちゃんに対する娘の行動に、私は胸が熱くなり感動してしまったのです。

「何番だった?」と結果だけしか頭になかった自分です。それなのに、たった10歳の子が、親として偉そうにしている私に“大切なものは何か”をしっかりと教えてくれたのです。

あれからもう12年が過ぎ、娘は大学生です。今年の夏休みの大半は、キャンプリーダーとして、たくさん子どもたちと一緒に寝泊りし、楽しくすごしていました。今でも娘に、あの時の話をすると「いつまでその話をするのよ」と笑顔で言い返えされてしまいます。あのあとのリレーは一体何番だったのか、今ではすっかり忘れてしまいました。でもあの時の“娘の優しさ”は、私の心のビデオには、今も鮮明に映っているのです。

そして、あの時あのすばらしい光景を見事にビデオに撮ってくれた妻を、今なお尊敬している私です。